2026-2 路面標示

令和８年(2026 年)　第２回

登録標識･路面標示基幹技能者講習(路面標示)

修了試験問題

修了試験実施日：令和８年(2026 年)11 月 13 日

修了試験実施場所：富士教育訓練センター

登録基幹技能者講習実施機関：一般社団法人全国道路標識･標示業協会

注意事項

① 携帯電話は電源を切り、カバンの中に入れてください。
② 試験問題は係員の指示があるまで開けないでください。
③ 解答用紙に受講番号と氏名を明記してください。
④ 正解と思う番号を解答用紙に記入してください。
⑤ 試験開始から 30 分が経過するまで及び試験終了 10 分前から終了時刻までは退出することができません。
⑥ 質問、体調不良、退室希望等は静かに挙手をしてください。
⑦ 試験問題は終了後に持ち帰ることができます。
⑧ 試験終了の合図があったら筆記用具を置き係員の指示に従ってください。
⑨ 解答は試験終了後約１週間後に全標協ホームページに掲載します。
⑩ 合格発表は令和８年(2026 年)12 月 10 日に全標協ホームページに掲載します。

一般社団法人全国道路標識･標示業協会

【基幹技能者一般知識】

問 1

登録基幹技能者に求められる能力に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① 職務に係る技術提案等を行い、全体の成果に結びつけることができる。

② 常に他業種とのコミュニケーションを図り、折衝、調整を行い工事を円滑に推進することができる。

③ 部下の育成にあたっては、教育訓練計画を作成し、指示通りにやらせることができる。

④ 指導者としての自覚を持ち、不測の事態の発生に対しても意欲的に取り組み、責任を持って問題解決できる。

問 2

コンプライアンスに関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

①「請負契約」とは、自己が雇用する労働者と雇用関係を維持したまま、その労働者を他社の指揮・命令下において従事させることを内容とした契約である。

② 社会保険制度の意義を十分把握し、未加入の状態を容認してはならない。

③ コンプライアンスは「法令遵守」と訳され、プライドとプロ意識を持ち、社会的責任を果たす事が大切である。

④ 令和６年４月残業時間の上限規制は、原則として月 45 時間かつ年 360 時間を上限とした。

【安全衛生法】

問３

労働安全衛生法に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① 事業者は、危険又は有害な業務で、厚生労働省令で定めるものに労働者をつかせるときは、厚生労働省令で定める安全又は衛生のための特別の教育を行わなければならない。

② 事業者は、労働者に対し、都道府県労働局長の定めるところにより、医師による健康診断を行わなければならない。

③ 事業者は、土砂等が崩壊するおそれのある場所等では、危険を防止する必要な処置を講じなければならない。

④ 注文者は、当該請負人の労働者にこの法律又はこれに基づく命令の規定に違反する指示をしてはならない。

問４

労働安全衛生法に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① 事業者は、常時 100 人以上の労働者を使用する建設現場では、総括安全衛生管理者を選任しなければならない。

② 事業者は、常時 50 人以上の労働者を使用する建設現場では、安全管理者を選任しなければならない。

③ 事業者は、常時 30 人の労働者を使用する建設現場では、安全衛生推進者を選任しなければならない。

④ 事業者は、常時 10 人の労働者を使用する建設現場では、衛生管理者を選任しなければならない。

【建設業法】

問５

建設業法に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① 「自己の取引上の地位を不当利用」とは、下請負人を経済的に不当に圧迫するような取引等を強いることをいう。

② 天災その他不可抗力による工期変更、損害負担及びその額の算定方法に関する定めは契約書面に記載しない。

③ やり直し工事に必要な費用は元請負人が負担する。ただし、下請負人の責めに帰すべき理由がある場合を除く。

④ 元請負人は、使用資材等の購入先等の指定を行う場合、あらかじめ見積条件としてそれらの項目を提示しなければならない。

問６

建設業法に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① 元請負人は、下請負人が 5000 万円以上の工事の見積を行う場合、10 日以上の期間を設けなければならない。

② 元請負人は、特別の理由により工期短縮をする必要があるときは、下請負人に書面で工期短縮を求めることができる。

③ 元請負人は、工期変更するときは、通常必要と認められる期間に比して著しい短い期間としてはならない。

④ 下請負人は、工事が完成したときは、その旨を書面をもって元請負人に通知する。

【道路法・道路交通法】

問７

道路法に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① 道路管理者は、道路に関する工事のためやむを得ないと認められる場合、道路の通行を禁止し、又は制限をすることができる。

② 道路管理者は、道路の交通と安全を図り、又は交通公害その他の道路の交通に起因する障害を防止するため、必要な場所に道路標識又は区画線を設けなければならない。

③ 道路管理者は、道路を常時良好な状態に保つように維持し、修繕し、もって一般交通に支障を及ぼさないように努めなければならない。

④ 道路法において、区画線は、道路附属物として定められていない。

問８

道路交通法に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① 令和８年９月１日から、いわゆる生活道路における自動車の法定速度が30km/h に引き下げられたが、道路標識又は道路標示により中央線又は車両通行帯が設けられている一般道路においては、60km/h に据え置かれた。

② 道路交通法において、道路標示とは、道路の交通に関し、規制又は指示を表示する標示をいう。

③ 道路法に規定する道路以外の道路にも、道路交通法の規定は適用される。

④ 都道府県公安委員会が行う交通規制のうち、適用期間が１ヶ月を超えるものについては、地元の実態をよく知る警察署長に行わせることができる。

【標識令の改正】

問９

標識令の改正に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① 平成 24 年 規制標示「普通自転車歩道通行可(114 の 2)」が新設され、自転車の記号のみで自転車が歩道を通行できることとした。

② 令和５年 「自転車及び歩行者等専用(325 の 3)」標識は、「特定小型原動機付自転車及び歩行者等専用」に名称変更となった。

③ 令和５年 規制標示「普通自転車歩道通行可(114 の 2)」は、「特例特定小型原動機付自転車・普通自転車歩道通行可(114 の２)」に名称変更となった。

④ 「特例特定小型原動機付自転車・普通自転車歩道通行可(114 の２)」を表示する規制標示には、必要がある場合には「特例特定原付を除く」の文字を表示することができる。

問 10

標識令に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① 平成４年 横断歩道標示の側線の無い標示が追加され、同時に二本線による標示と道路鋲による標示は削除されている。

② 令和６年の改正前には、道路交通法施行令により全ての横断歩道では道路標示に加えて道路標識の設置が必要であった。

③ 一時停止の道路標識が設置されており、一時停止すべきこととなる車両に対面する横断歩道標識は省略することができることとなった。

④ 令和６年 これまで 45 ㎝～50 ㎝とされていた横断歩道の白線の設置間隔を 90 ㎝まで拡大することが可能となった。

【自転車利用ガイドライン】

問 11

「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① 自転車活用法では、地方公共団体は「市町村自転車活用推進計画」を策定し、「自転車ネットワーク計画」を位置付けることとしている。

② ガイドラインでは「自転車専用通行帯」とは、普通自転車が通行しなければならない車両通行帯として指定された車両通行帯をいう。

③ 自転車専用通行帯の場合、規制標示「車両通行帯(109)」に併せて規制標識「特定小型原動機付自転車・自転車専用帯(327 の 4 の 2)」を設置しなければならない。

④ 車道混在とする場合、自動車に注意喚起するための矢羽根型路面表示、法定外の自転車ピクトグラムを設置するものとする。

【施工計画・作業計画・環境保全対策・工程管理】

問 12

施工計画に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① 施工計画の作成は、過去に施工した同工種の実績や経験を参照し、経験のない新技術や新工法の採用は控えるようにする。

② 施工計画の検討は、複数の計画案を作成し、経済性、施工性、安全性などについて比較検討し、最も適した計画を採用する。

③ 契約工期が必ずしも最適工期になるとは限らないので、経済的で効率の良い工程を検討する。

④ 施工計画の検討にあたっては、現場担当者のみならず、会社内の組織を活用し、高度な技術水準を活用する。

問 13

作業計画に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① 作業手順書の作成の目的は、作業の中で発生するムリ・ムダ・ムラを取り除き効率よく作業を進捗させ、理想的な作業順序により工作物を完成させることである。

② 作業手順書の作成にあたっては、登録基幹技能者や安全衛生責任者が中心となって作業員の意見を聞き、様々な事案を加味して作成することが望ましい。

③ 施工要領書の作成の目的は、安全に良いものを経済性と品質の維持向上に重点を置き、様々な条件を考慮し、適切な施工方法を抽出し選定することである。

④ 施工要領書は、設計図に明示されていないもの、あえて明示していないものについて現場条件を考慮して明示し、その作成は原則として代表的な工種のみを作成すればよい。

問 14

環境保全に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① 環境保全とは、工事に伴う騒音や振動などを最小限に抑えるように計画し、地域住民や関係機関などへ説明責任を果たした上で工事による悪影響から周辺地域の自然環境や生活環境を守ることをいう。

② 工事に伴う騒音・振動対策は、「発生源での対策」「伝搬経路での対策」「受音点・受振点」での対策があるが、一番効果的な対策は「発生源での対策」である。

③ 特定建設作業とは、指定地域内の建設工事において著しい騒音、振動が発生する作業をいい、当該作業を開始した日に終わるものも特定建設作業に含まれる。

④ 指定地域内において、特定建設作業を伴う建設工事を施工しようとする者は、当該特定建設作業の開始の日の 7 日前までに、管轄する市町村長に届け出なければならない。

問 15
工程管理に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① バーチャートは、縦軸に作業名、横軸に工期(日数)を表すため、全体的な工程の流れを把握しやすい工程表である。

② ガントチャートは、縦軸に作業名、横軸に作業の達成度(%)を表すため、全体工期に影響する作業がどの作業がわかる工程表である。

③ 工程管理曲線(バナナ曲線)においては、実施工程曲線の位置が下方許容限界曲線の付近にある場合及び下回っている場合は、工程が遅延しているので突貫工事の実施について検討する必要がある。

④ ネットワーク式工程表は、クリティカルパス(最長経路)を見つけ出し、そこを重点管理することで全体工期の短縮を図ることができる工程表である。

【原価管理】
問 16
原価管理に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① 建設業の 4 原価要素とは、材料費・労務費・外注費・経費である。

② 原価管理では、目標とした利益を達成することが求められるが、必要以上に下請負業者への発注金額を圧縮することで、その労働者が不当な低賃金に追い込まれることが無いように対応しなければならない。

③ 実行予算とは、工事受注後に具体的な施工計画を立てた上で、工事に必要な費用をすべて算出し予算計上したものである。

④ 予算実績管理(予実管理)での損益管理では、実際原価と実行予算を比較し、実際原価が実行予算を上回るように設定管理して利益を得るようにする。

問 17

原価管理に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① 工程・原価・品質の相互関連性では、相反する性質があるが、これらを調整して計画することが大切である。

② 工程と原価の関係は、工事の施工速度を上げると工事の原価は安くなるが、さらに工事の施工速度を上げると突貫工事になり、更に工事の原価は安くなる。

③ 原価と品質の関係は、一般に工事の品質を上げると工事の原価は高くなるが、工事の品質を下げると工事の原価は下がる。

④ 品質と工程の関係は、工事の品質を上げると施工速度が下がり工事の工程が遅くなるが、工事の工程速度を上げようとすると工事の品質は下がる。

【品質管理】

問 18

品質管理に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① 品質管理に取り組むための手法としての「QC７つ道具」とは、特性要因図、チェックシート、層別、パレート図、管理図、ヒストグラム、散布図である。

② 特性要因図とは、品質上問題となっている特性(結果)と、それに関係する要因(原因)の因果関係を魚の骨のような形に整理した図である。

③ パレート図とは、品質問題の要因(不良)について発生度数の高い順位に並べ、それぞれの頻度をヒストグラムで、その累積の発生頻度を折れ線グラフで表現した図であり、発生頻度上位を重点管理し改善するものである。

④ 散布図とは、チェックシート等で得られた要因の発生状況を棒グラフにしたもので、平均値や標準偏差(結果のばらつきの程度)を図に書き込み、ばらつきの状況の評価に用いる。

【安全管理】

問 19

熱中症予防対策に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① WBGT の値は、暑熱環境による熱ストレスの評価を行う暑さ指数である。

② 脱水症状は、自覚症状以上に進行する場合があるため、定期的な水分・塩分補給摂取を指導する。

③ 熱中症の兆候が表れた場合は、作業員の健康状態を確認し作業を継続し様子を観察する。

④ 服装は熱を吸収しやすい作業着は避け、透湿性・通気性のよいものや空調服等を着用するように指導する。

問 20

リスクアセスメントに関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① リスクアセスメントの目的は、その作業に潜むリスクを洗い出し、リスクの大きさや頻度を予想し、対策を立てることによりリスクをなくすことである。

② リスクアセスメントを実施することにより、予防の安全管理や自主的な安全活動ができるようになる。

③ リスクアセスメントを実施する時期は、作業手順の作成時やその変更時などの際に実施する。

④ リスクアセスメントのリスクをなくすための対策検討は、予想した危険の見積点数の低いものから優先して対策を立てる。

【路面標示の設置】

問 21

路面標示に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① 路面標示は、路面標示用塗料又は道路鋲、石又はこれに類するものなどを用いる。

② 路面標示の設置の根拠は、道路法及び道路交通法などに規定されている。

③ 路面標示の様式、設置者の区分、設置場所、その他必要な事項は、標識令に規定されている。

④ 路面標示は、区画線では白色のみ、道路標示では黄色のみが用いられている。

問 22

路面標示の種類に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

①「停止線」は、指示標示である。

②「専用通行帯」は、規制標示である。

③「右側通行」は、規制標示である。

④「車道幅員の変更」は、区画線である。

問 23

路面標示の設置計画に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① 道路は、歩行者、普通自転車及び自動車の区分が構造的に分離できない場合、路面標示による分離を図るのが効果的である。

② 信号機が設置されている交差点で横断歩道橋等の立体横断施設のある直近部では、「横断歩道(201)」は、設置しないものとする。

③「車道外側線(103)」を設置する場合は、原則として全ての道路に設置する。ただし、最小車道幅員は 2.75ｍとする。

④「横断歩道(201)」を設置する場合の原則としては、曲線部又は縦断勾配等の見通しが悪い場所には設置しないことが望ましい。

問 24

路面標示の設置計画に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① 信号機が設置されていない交差点で横断歩道を設置する場合は、原則として車道幅員が 3.0ｍ以上で交通量及び横断歩行者等が多く歩行者の安全を確保する必要がある場所に設置する。

② 左折車線は、交差点が鋭角な場合や、左折車と横断歩行者が共に多く、左折待ち車両が直進交通を妨害する場合等に設置する。

③「横断歩道(201)」の設置間隔は、市街地においては、おおむね 100ｍ以上、非市街地においては、おおむね 200ｍ以上とする。ただし、通学・通園児、高齢者、身体障がい者等の横断する場所や商店街等で歩行者の横断が特に多い場所においては、設置間隔を短縮することができる。

④ 停止線又は横断歩道がある場合、「車線境界線(102)」は停止線までとし、停止線より先の交差点内には設けない。

問 25

区画線に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① 「車道中央線(101)」は、車道の幅員が 5.5ｍ以上の区間内の中央を示す必要がある車道の中央に設置する。

② 車道幅員片側 6m 以上の多車線の場合、中央線は車線境界線と区別するため二重実線とする。

③ 設計速度 80 ㎞/h 以上の自動車専用道路での「車道外側線(103)」の幅は、0.15ｍである。

④ 「歩行者横断指導線(104)」は、実線又は道路鋲等により表示する。

問 26

規制標示に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① 「進路変更禁止線(102 の 2)」は、両側を禁止する場合と片側のみ禁止する場合がある。

② 路線バス等の優先通行帯を設ける場合は、道路標識の設置を原則とし、併せて道路標示「路線バス等優先通行帯(109 の 7)」を設置する。

③ 「歩行者用路側帯(108 の 3)」は、白色の実線と破線で設置する。

④ 「普通自転車の交差点進入禁止(114 の 4)」を設置する場合は、道路標識の定めがないため、道路標示のみを設置している。

問 27

指示標示に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① 「横断歩道(201)」の白線と白線の設置間隔は、道路形状や交通状況等に応じて 45cm～90cm の間から選択することができる。ただし、白線と白線の設置間隔が 51cm 以上の場合は、白線を５本以上設置できる場合に限る。

② 「停止線(203)」規制が実施されていない場所にも法定外表示「止まれ」の文字表示を設置する。

③ 島状の施設を設けて安全地帯を設置する場合を除き、安全地帯には、道路標識「安全地帯(408)」と道路標示「安全帯(207)」の双方の設置が必要である。

④ 「斜め横断可(201 の 2)」は、時間を指定する場合と、終日行う場合がある。

問 28

規制標示「特例特定小型原動機付自転車・普通自転車歩道通行可(114 の 2)」に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① 本規制の設置は、原則として歩行者の通行及び沿道の状況から、歩行者の通行に支障がないと認められる歩道に設置する。

② 自転車の記号は、原則として区間内の起点・終点に設置する。

③ 通行部分を指定する場合は、歩道の幅員、歩道上の植樹、街灯、道路標識等の附属物、その他工作物の設置状況に十分配慮する。

④ 通行部分を指定する場合は、歩道の車道寄りを指定する。

【路面標示の材料】

問 29

路面標示用塗料に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① 水系塗料の乾燥硬化は、水の揮発に続いて造膜助剤の作用によって塗膜が硬化する。

② ３種(溶融)塗料は、溶剤を含まないため速乾性である。

③ ２種(加熱)塗料は、１種(常温)塗料に比べ高粘度のため、溶剤の添加量は多い。

④ ２種(加熱)塗料の加熱温度は、水系塗料は 40℃～60℃、溶剤系塗料は 50℃～80℃に粘度を下げ施工する。

問 30

路面標示用塗料(JIS K 5665:2018)の適用に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① ２種(加熱式)溶剤系塗料は、0℃以下の低温において塗料が凍結する場合がある。

② １種(常温式)の密度が大きいと施工距離が短くなり、密度が小さいと施工距離が長くなる。

③ ３種(溶融)塗料には、熱を加えた時の安定性を判定する基準として加熱安定性試験がある。

④ ３種(溶融)塗料の屋外暴露対候性試験では、試料を 12 か月間屋外暴露し、色の変化の程度や塗膜の劣化状態を調べる。

問 31

路面標示用塗料(JIS K 5665:2018)に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① 3 種(溶融)のガラスビーズ固着率は 90%以上の性能が必要である。

② 3 種(溶融)の密度は 2.3 以下に規定されている。

③ 3 種(溶融)塗料の圧縮強さ試験は、車両通過による路面標示の耐破壊力、耐久性及び脆性を判定する試験である。

④ 3 種(溶融)塗料の密度は、副次的要素で性能への影響はほとんどない。

問 32

路面標示用塗料(JIS K 5665:2018)に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① カラー溶融塗料には、品質・製品ごとに異なるが、3 種(溶融)塗料に準じたものが多く、滑り抵抗を付与するタイプや排水機能を有するタイプなどがある。

② 貼付型路面標示材料の黄色は、警察庁指定の道路標示黄色(マンセル参考値 5.5YR6.5/12)によるものとする。

③ 剥がすことのできる軟質アルミタイプを基層とする貼付型路面標示材料は、新設アスファルト舗装直後の仮標示や臨時的な車線変更に用いる。

④ カラー溶融塗料は、統一された品質規定がある。

問 33

路面標示用塗料の視認性に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① 路面標示用ガラスビーズの屈折率は、再帰反射効果に影響を与える。

② JIS K 5665:2018 に使用するガラスビーズは、JIS R 3301:2014 の 1 号又は同等の品質のものと定められている。

③ 屈折率 1.9 のガラスビーズは、屈折率 2.2 以上のガラスビーズに比べ雨天時にはより高い視認性が得られる。

④ JIS 規格のガラスビーズの粒径範囲は、0.106mm～0.850mm である。

【路面標示の施工】

問 34

路面標示塗料(JIS K 5665:2018)の施工に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① エアレススプレーは高粘度塗料の塗装には適さない。

② エアレススプレーはエッジ部分のスケやパターンの波打ちを生じやすい欠点がある。

③ 溶融式工法のスリット式は複雑な標示図形が極めてシャープに施工できる。

④ 噴射式やフローコーター式は排水性舗装の空隙部を確保できるため、機能を損なわずに施工できる。

問 35

路面標示塗料(JIS K 5665:2018)の施工に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① 溶融式工法では、加熱温度 200℃以上で長時間加熱攪拌すると材質が劣化する傾向がある。

② 溶融式工法では、熱劣化によって低下する品質性能は、軟化点上昇、圧縮強さ上昇、耐候性低下及び接着力低下などがある。

③ 溶融式工法に使用するプライマーは、路面上の微細な塵埃等を被覆し湿潤化することで塗料の接着力を向上させる。

④ スリット式はスリット金型の両側にあるエッジとテールライナーとの間隔で定まるため、路面の凹凸がある場合でも均一な厚さは得られる。

問 36

路面標示消去に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① ３種(溶融)の化学的消去の燃焼法は、バーナーで加熱溶融して塗膜を取り除くため路面を傷めない。

② 切削法は、消去の効果は大きいが路面を傷める。

③ ブラスト法は、比較的大型で特殊な設備が必要で、使用した硬粒や珪砂の回収に時間と労力を要する。

④ 水圧法は、消去と同時に発生処理材を吸引車により吸引回収し、産業廃棄物処理することも可能である。

【路面標示の維持･管理】

問３７

路面標示の点検に関する次の記述のうち､最も不適切なものはどれか。

① 全国の道路総延長は膨大な量となっており､路面標示の点検には多大な費用と時間を要する。

② 路面標示の材料の種類が極めて多いことから､材料の選択に当たっては強度､耐久性､効用などに十分注意しなければならない。

③ 積雪地域等で融雪後毎年塗り直しが必要となる道路では､経済性より耐久性を考慮して工法を選択する必要がある。

④ 規制標示及び指示標示は､交通規制を実施する場合の具体的な意思を表示する手段であるため､常に良好な視認性を保つことは､不可欠の条件である。

問３８

路面標示の塗り替え基準に関する次の記述のうち､最も不適切なものはどれか。

① 溶融型の路面標示は､通常 1.5mm から 1.7mm の厚さで施工しているが､目視評価３では､路面の不陸(凹凸)を考慮しても 1mm 前後は摩耗している。

② 道路の状況､交通状況により､夜間の視認性を確保する必要があるところでは､塗り替えの際､高視認性の路面標示材料を採用するのがよい。

③ 最新の区画線診断には AI 等が活用されている。

④ 排水性舗装を代表とする空隙率が大きい舗装の場合は､路面標示摩耗の進行が遅い。

【法定外表示】

問 39

法定外表示等に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

① 法定外表示等とは、標識令や関係法令で定められたもの以外の路面表示やカラー舗装、看板類のことで、交通の安全と円滑を図るために設置するものをいう。

② 新たに法定外表示を考案、設置する場合には、一見してその意味が理解でき、標識令に基づく道路標識の様式と類似の形態(図柄等)とする。

③ 法定外表示等の設置・管理等にあたっては、各都道府県警察と道路管理者で設置内容や設置主体等を含めて調整を図る必要がある。

④ 標準運用を定めるカラー舗装には、バスレーン関係のカラー舗装や、歩行者、自転車利用者等保護のためのカラー舗装があり、色は市区町村ごとに統一させる。

問 40

法定外表示等に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

①「減速を促す路面表示」は、減速を要する区間及びその手前に設置し、効果を高めたい場合は、減速理由についての文字表示を設置することができる。

② 統一化を図る法定外表示には、「環状交差点における路面表示」や「進行方向別通行区分」の予告表示等がある。

③「普通自転車等専用通行帯以外の自転車通行空間路面表示等」を設置する場合、自転車のピクトグラムは白色、矢羽根型路面表示は青色とする。

④「ハンプ路面表示」は、車両進行方向のハンプすりつけ部に配置することとし、相互通行道路では車線の中央付近に路面表示を設置する。

登録標識・路面標示基幹技能者講習 解答用紙

受講番号		氏名	

【基幹技能者一般知識】【安全衛生法】【建設業法】【道路法・道路交通法】

1	2	3	4	5	6	7	8
3	1	2	4	2	1	2	4

/8

【標識令沿革・ガイドライン】【施工管理・環境保全対策・作業計画・工程管理】

9	10	11	12	13	14	15
2	2	3	1	4	3	2

/7

【原価管理】【品質管理】【安全管理】

16	17	18	19	20
4	2	4	3	4

/5

共通　合計 /20

【路面標示の設置】

21	22	23	24	25	26	27	28
4	3	3	1	3	3	2	2

/8

【道路標示の材料・施工】

29	30	31	32	33	34	35	36
3	3	1	4	3	1	4	1

/8

【路面標示の維持管理】【法定外表示の設置等】

37	38	39	40
3	4	2	4

/4

専門　合計 /20

総合計 /40